

## 【目的別歳出】

目的別経費の構成割合をみると、民生費29億7,897万6千円（構成比22.8%）が最も大きく、次いで総務費23億5,846万4千円（同18.1%）、土木費19億4,864万7千円（同14.9%）、教育費19億2,001万7千円（同14.7%）の順となった。

総務費、民生費、消防費、諸支出金などが増加する一方、商工費、土木費、教育費などが前年度に比べ減となった。

総務費は、2億7,943万7千円（13.4%）の増で、前年度から繰り越した総合福祉事務所・総合相談センター建設事業やルミナスストリート整備事業への集中投資、財政調整基金への積み立てなどが要因となった。

民生費は、1億5,637万7千円（5.5%）の増で、長小と北小の放課後児童館を増設したことや、これまで借地だった竹原保育園の用地を取得したことなどが要因となった。

消防費は、3,076万8千円（6.4%）の増で、高規格救急自動車の整備や住宅用火災警報器の設置に対し助成を行ったことなどが要因となった。

諸支出金は、4億7,593万6千円（108.9%）の増で、平成12年度に契約した都市計画道路整備事業代替地等用地取得事業において、債務負担行為の最終年度である平成21年度分の用地費を繰上償還したことや、健康づくり施設等用地取得事業による土地の取得（平成26年度まで債務負担行為）などが要因となった。

### 一般会計歳出決算状況（目的別）

（単位：千円・%）

款別	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)-(B)の内訳		19年度決算額 (C)	増減額 (B)-(C)	(B)の 構成比
			翌年度繰越額	不用額			
1 議会費	122,826	119,340		3,486	122,700	△3,360	0.9
2 総務費	2,924,942	2,358,464	520,720	45,758	2,079,027	279,437	18.1
3 民生費	3,100,244	2,978,976	24,422	96,846	2,822,599	156,377	22.8
4 衛生費	1,127,887	1,074,039		53,848	1,100,485	△26,446	8.2
5 労働費	104,936	96,571		8,365	73,809	22,762	0.8
6 農林水産業費	109,744	105,084		4,660	78,854	26,230	0.8
7 商工費	120,158	95,733	24,000	425	197,477	△101,744	0.7
8 土木費	2,196,060	1,948,647	221,188	26,225	2,610,696	△662,049	14.9
9 消防費	521,517	511,388		10,129	480,620	30,768	3.9
10 教育費	2,075,555	1,920,017	110,110	45,428	2,799,107	△879,090	14.7
11 災害復旧費	40	0		40	4,246	△4,246	0.0
12 公債費	939,312	939,311		1	942,144	△2,833	7.2
13 諸支出金	912,916	912,914		2	436,978	475,936	7.0
14 予備費	64,373	0		64,373	0	0	0.0
計	14,320,510	13,060,484	900,440	359,586	13,748,742	△688,258	100.0